

---

中野市  
「地域農業の将来（人と農地の問題）に関する  
アンケート」報告書（地区別比較）



令和4年10月

---

中野市経済部農業振興課

---

---

## 調査の概要

### 1 調査の目的

地域農業の振興に必要となる「人・農地プラン」と地域における農業の将来のあり方を明確化（実質化）するうえの課題を把握することを目的とする。

### 2 調査の概要

#### 1) 調査対象者

令和3年7月1日現在、中野市農業委員会の農地台帳に記載されている地権者又は耕作者のうち、1,000m<sup>2</sup>（10a）以上の農地を所有している世帯

#### 2) 調査方法

令和3年9月6日から9月30日を回答期間とし、郵送により配布し、返信用封筒により回収

#### 3) 回収結果

配布票数3,958／回収票数1,603／回収率40.5%

中野地区：415/193（46.51%）、日野地区：281/110（39.15%）、延徳地区：348/125（35.92%）、平野地区：416/157（37.74%）、

高丘地区：393/164（41.73%）、長丘地区：248/116（46.77%）、平岡地区：477/169（35.43%）、科野地区：323/131（40.56%）

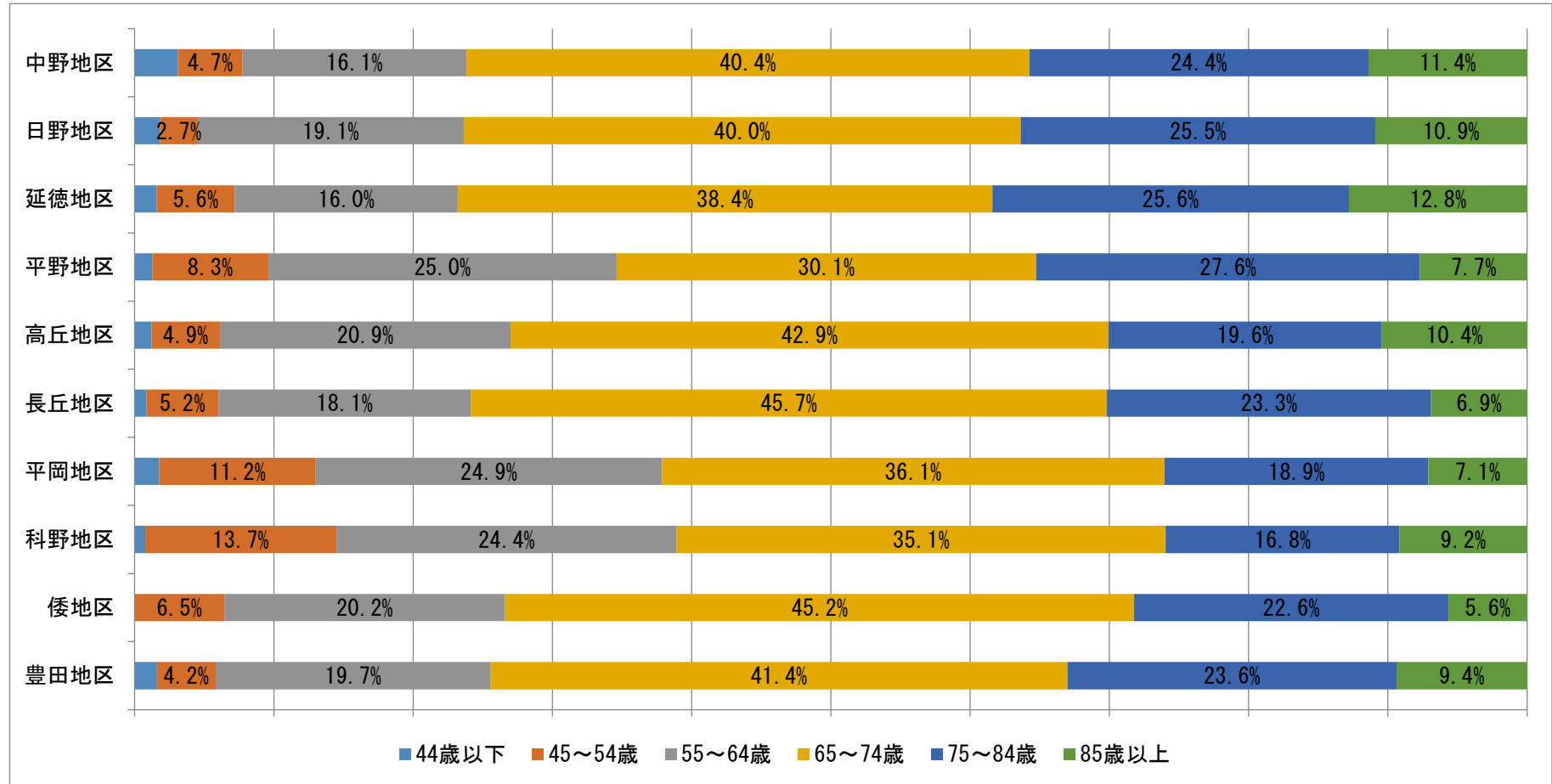
倭地区：297/124（41.75%）、豊田地区：760/309（40.66%）、地区不明5票

#### 4) 集計上の留意点

- ① 原則として、地区ごとの比較を行いたい設問では、帯グラフを用いました。
- ② 回答不要及び複数回答となる設問については、無回答を含めずに集計しています。
- ③ 視認性を確保するため、一部回答率（割合）の記載を省略しています。
- ④ 回答率は、小数点第二位を四捨五入して小数点第一位まで表記しました。このため、合計が100%にならないことがあります。
- ⑤ 複数回答では、回答総数を100（%ベース）として、それぞれの回答数の割合を百分率で示してあります。したがって、割合の合計は100%にはなりません。

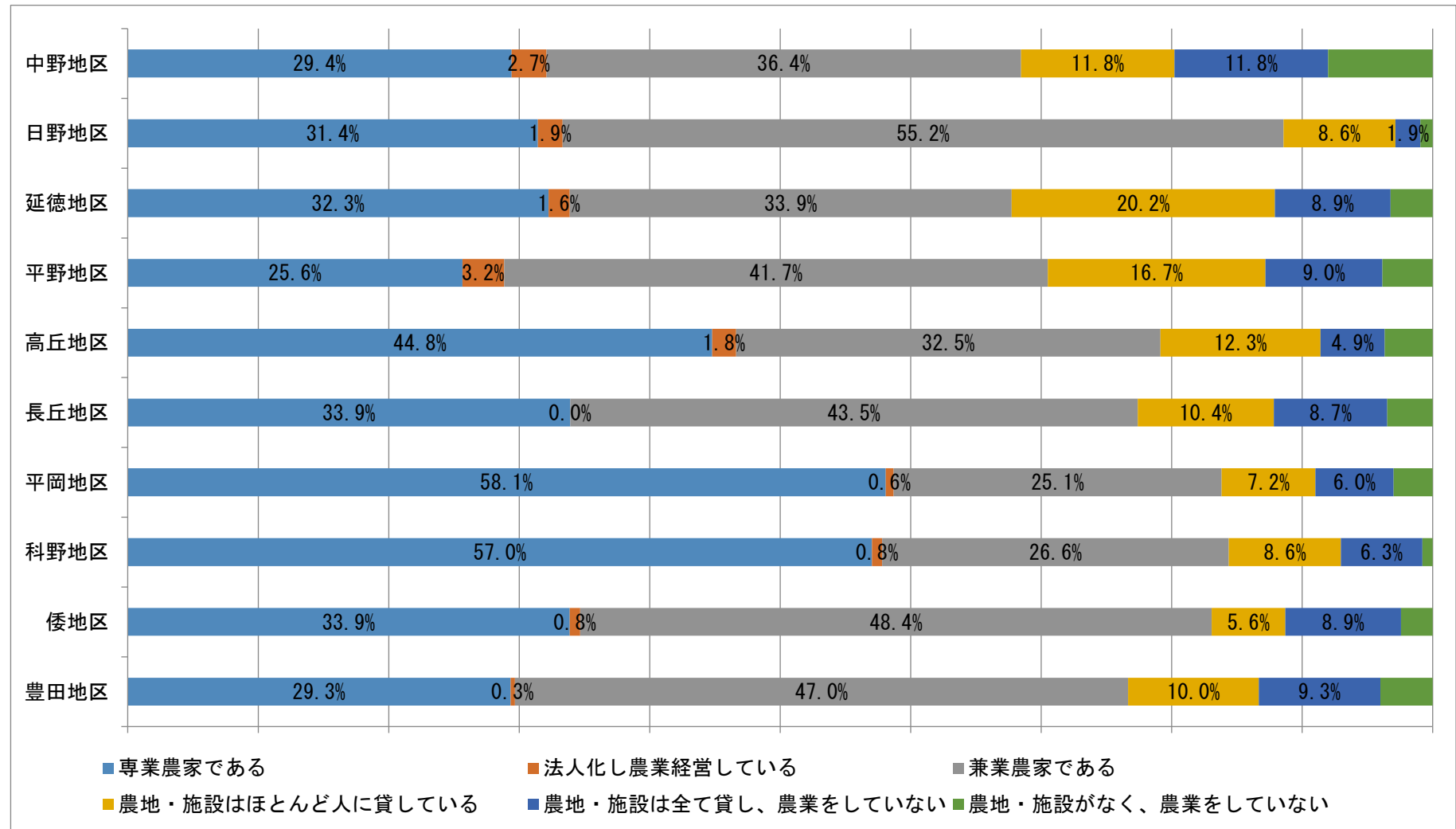
## I. あなたのことについて

### Q2 現在の年齢を教えてください



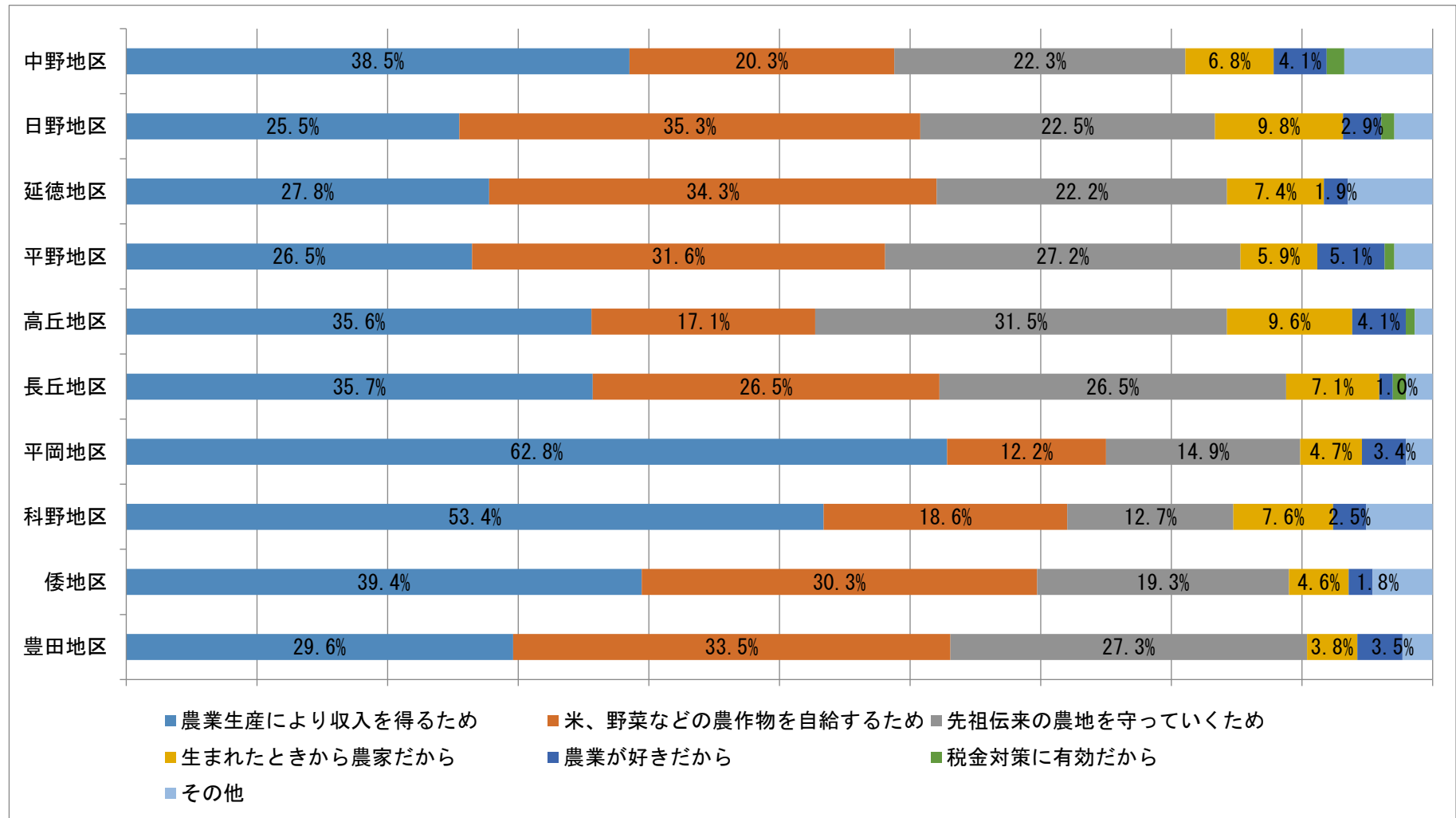
- ・農業に従事している方の半数以上が65歳以上である。
- ・農地所有者を調査対象者としたため、若い世代の回答が少ないことが影響していると考えられる。

Q3 あなたの世帯では、農業をしていますか？



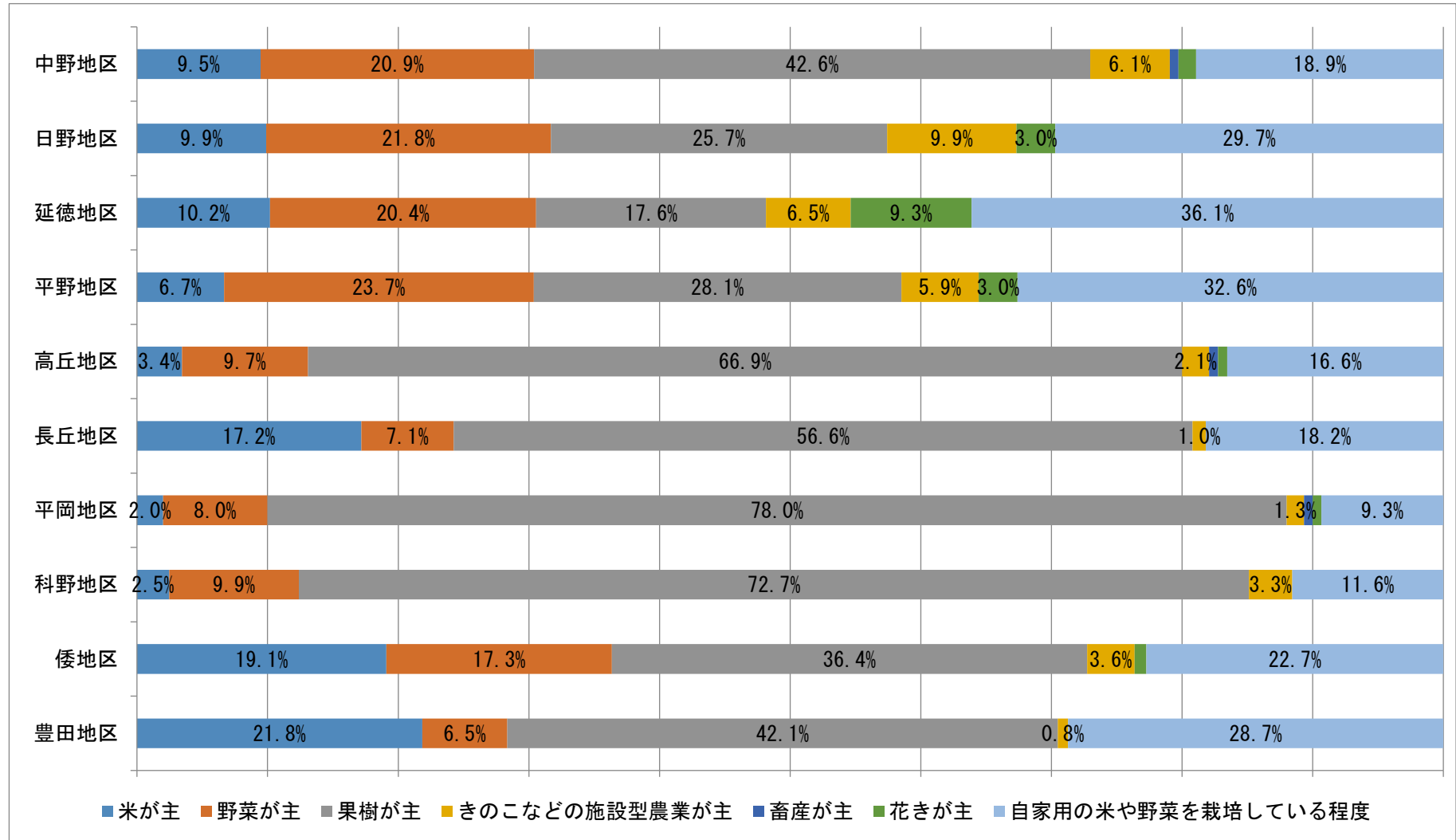
- ・「専業農家である」の割合は平岡地区が最も高く（58.1%）、次いで科野地区（57.0%）である。
- ・「兼業農家である」の割合は日野地区が最も高く（55.2%）、次いで倭地区（48.4%）である。

Q 4 農業をしている理由をお聞きます



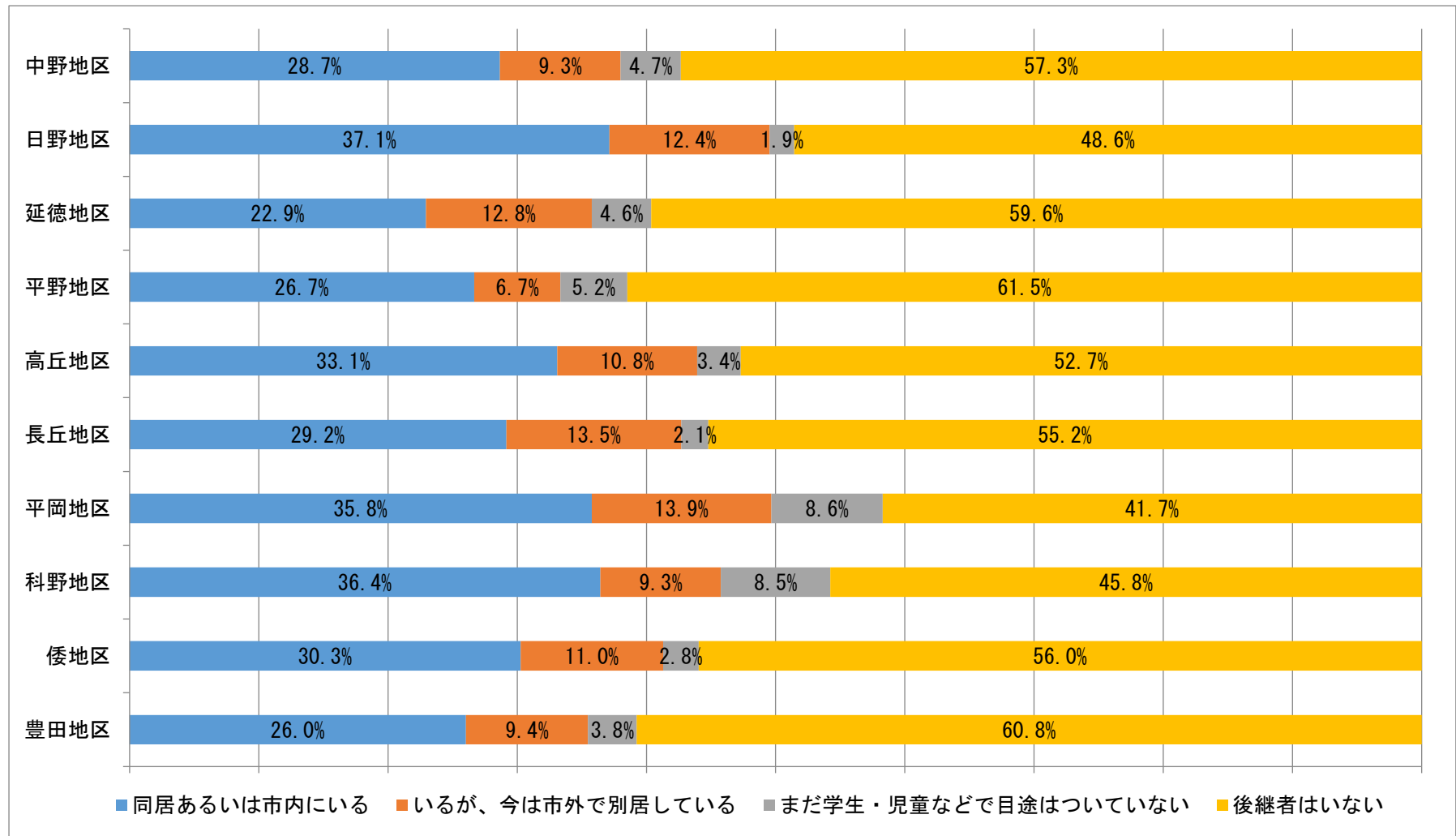
- ・「農業生産により収入を得るため」の割合は平岡地区が最も高く（62.8%）、次いで科野地区（53.4%）である。
- ・「米、野菜などの農作物を自給するため」の割合は日野地区が最も高く（35.3%）、次いで延徳地区（34.3%）である。

Q5 あなたの世帯では、どのような農業をされていますか？



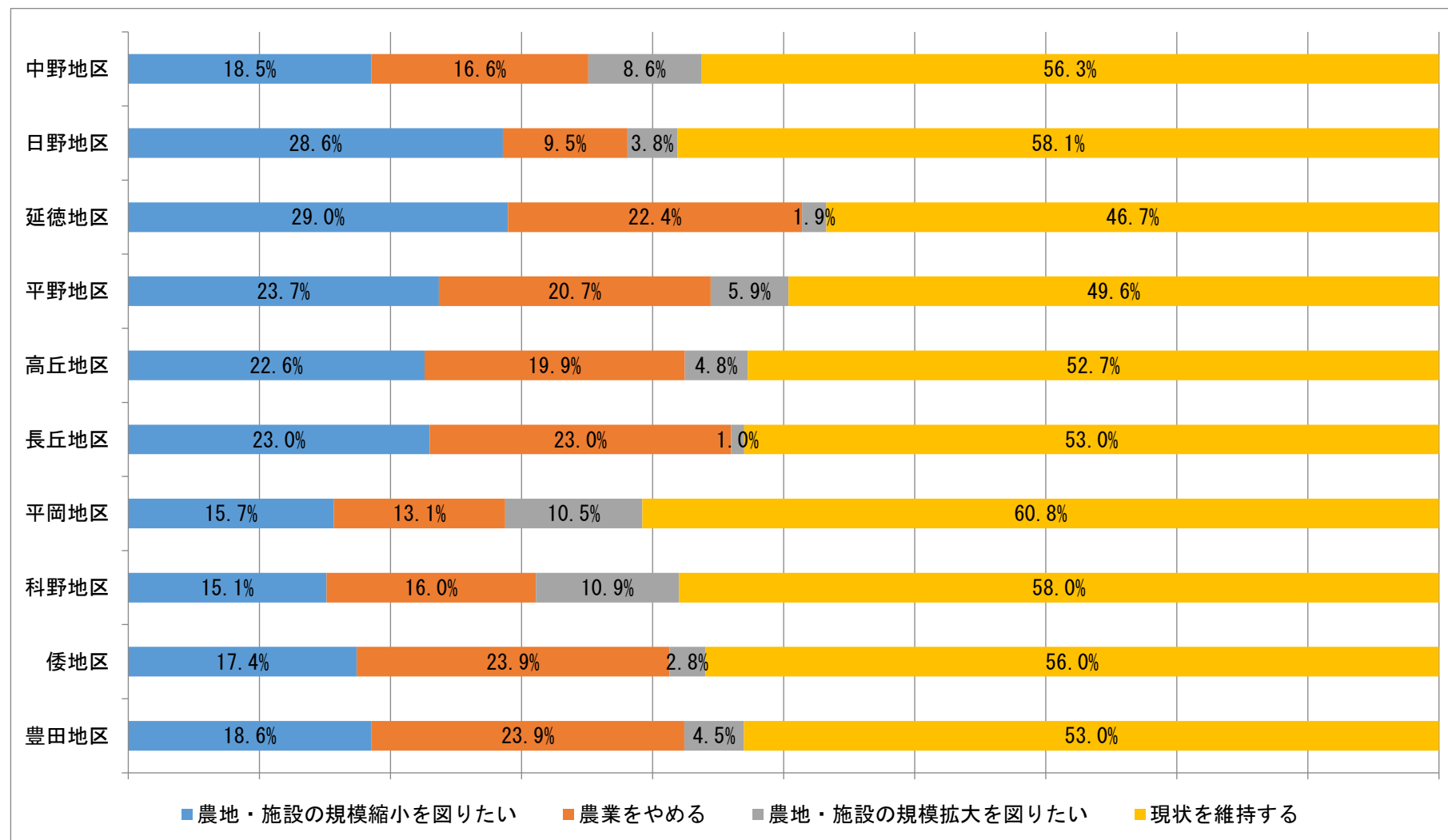
- ・「果樹が主」の割合は平岡地区が最も高く（78.0%）、次いで科野地区（72.7%）である。
- ・「自家用の米や野菜を栽培している程度」の割合は延徳地区が最も高く（36.1%）、次いで平野地区（32.6%）である。

Q6 あなたの家には農業後継者はいますか



- ・「後継者はいない」の割合は平野地区が最も高く（61.5%）、次いで豊田地区（60.8%）である。
- ・「同居あるいは市内にいる」の割合は日野地区が最も高く（37.1%）、次いで科野地区（36.4%）である。

Q7 農業について今後どのようにしたいとお考えですか？

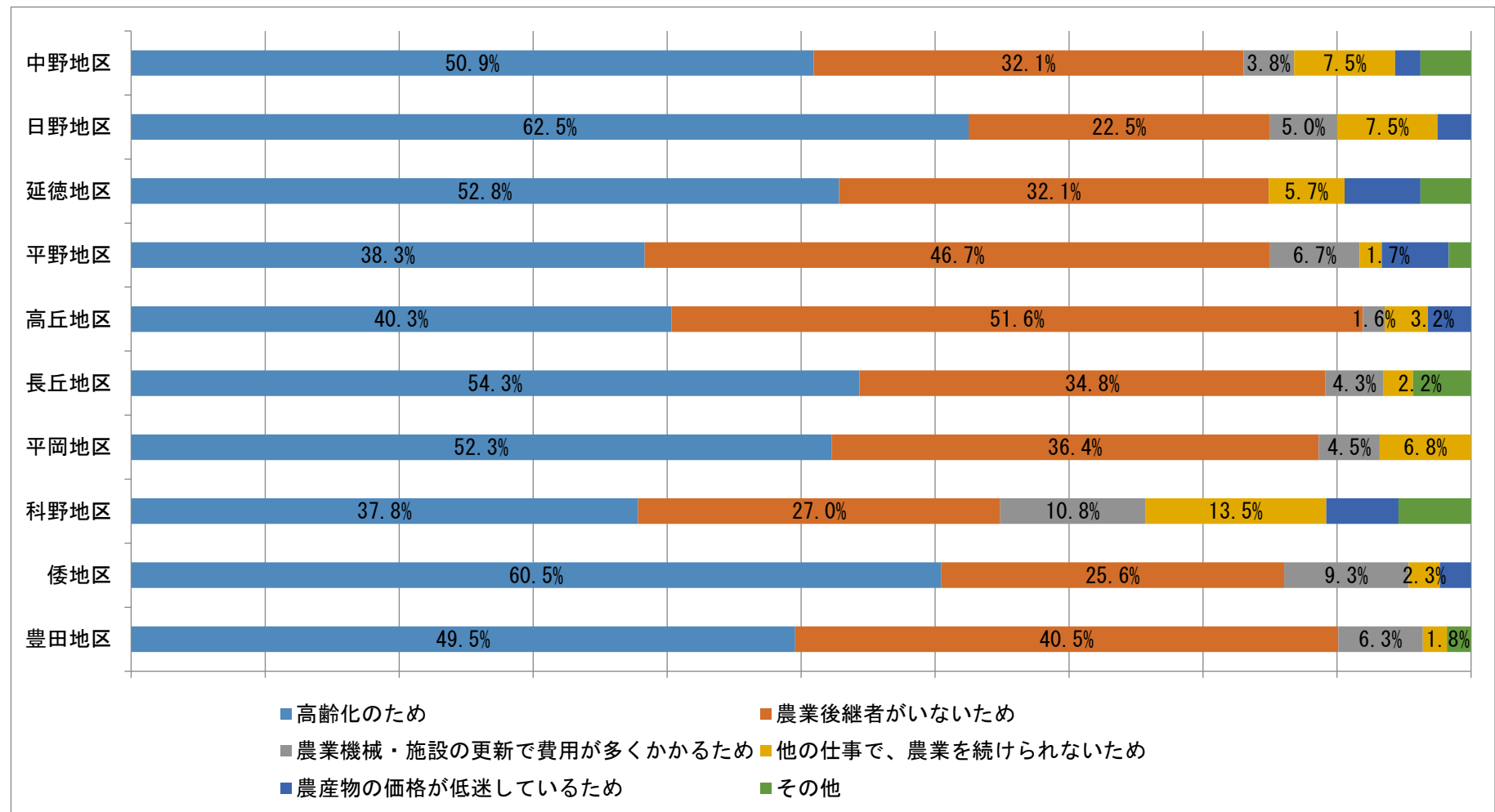


- ・「現状を維持する」の割合は平岡地区が最も高く（60.8%）、次いで日野地区（58.1%）である。
- ・「農地・施設の縮小を図りたい」の割合は延徳地区が最も高く（29.0%）、次いで日野地区（28.6%）である。



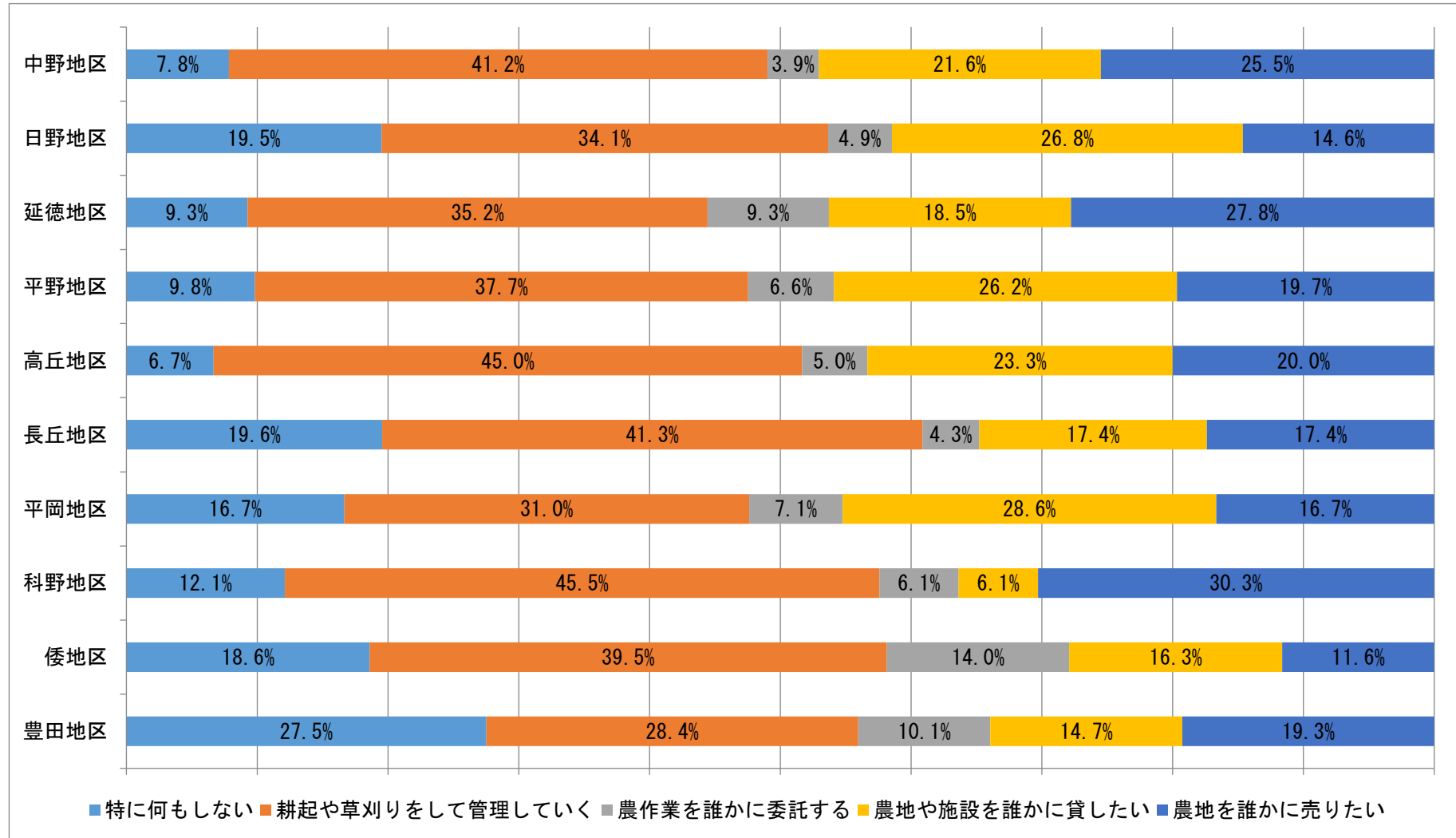
Q8 Q7で1及び2に○印をつけられた方にお聞きします。

農地・施設の規模縮小や農業をやめるとした理由はどれですか？



- ・「高齢化のため」の割合は日野地区が最も高く（62.5%）、次いで倭地区（60.5%）である。
- ・「後継者がいないため」の割合は高丘地区が最も高く（51.6%）、次いで平野地区（46.7%）である。

Q9 あなたの農地について今後どのようにしたいとお考えですか？

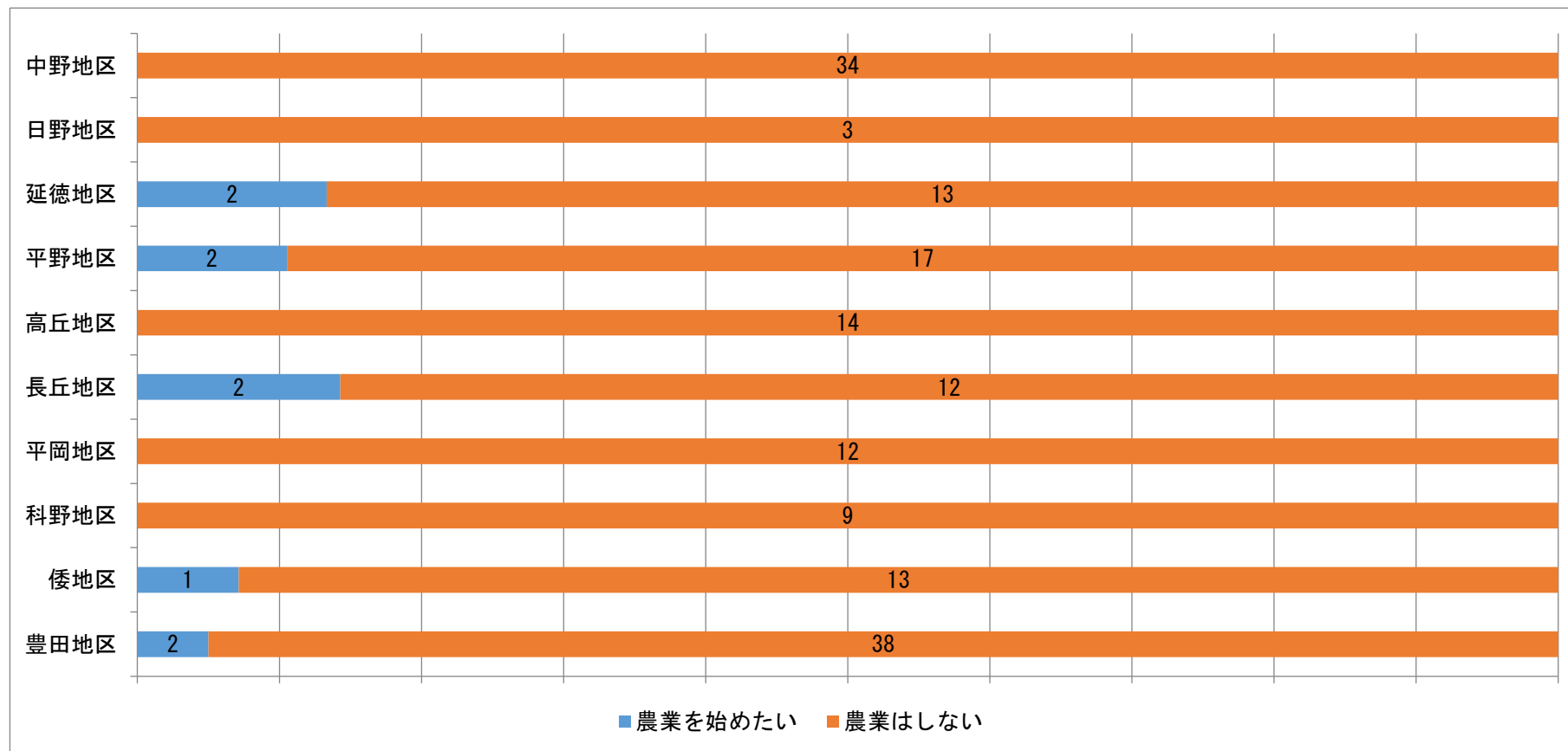


- ・「耕起や草刈りをして管理していく」の割合は科野地区が最も高く（45.5%）、次いで高丘地区（45.0%）である。
- ・「農地や施設を誰かに貸したい」の割合は平岡地区が最も高く（28.6%）、次いで日野地区（26.8%）である。

## Ⅱ. これからの農業について

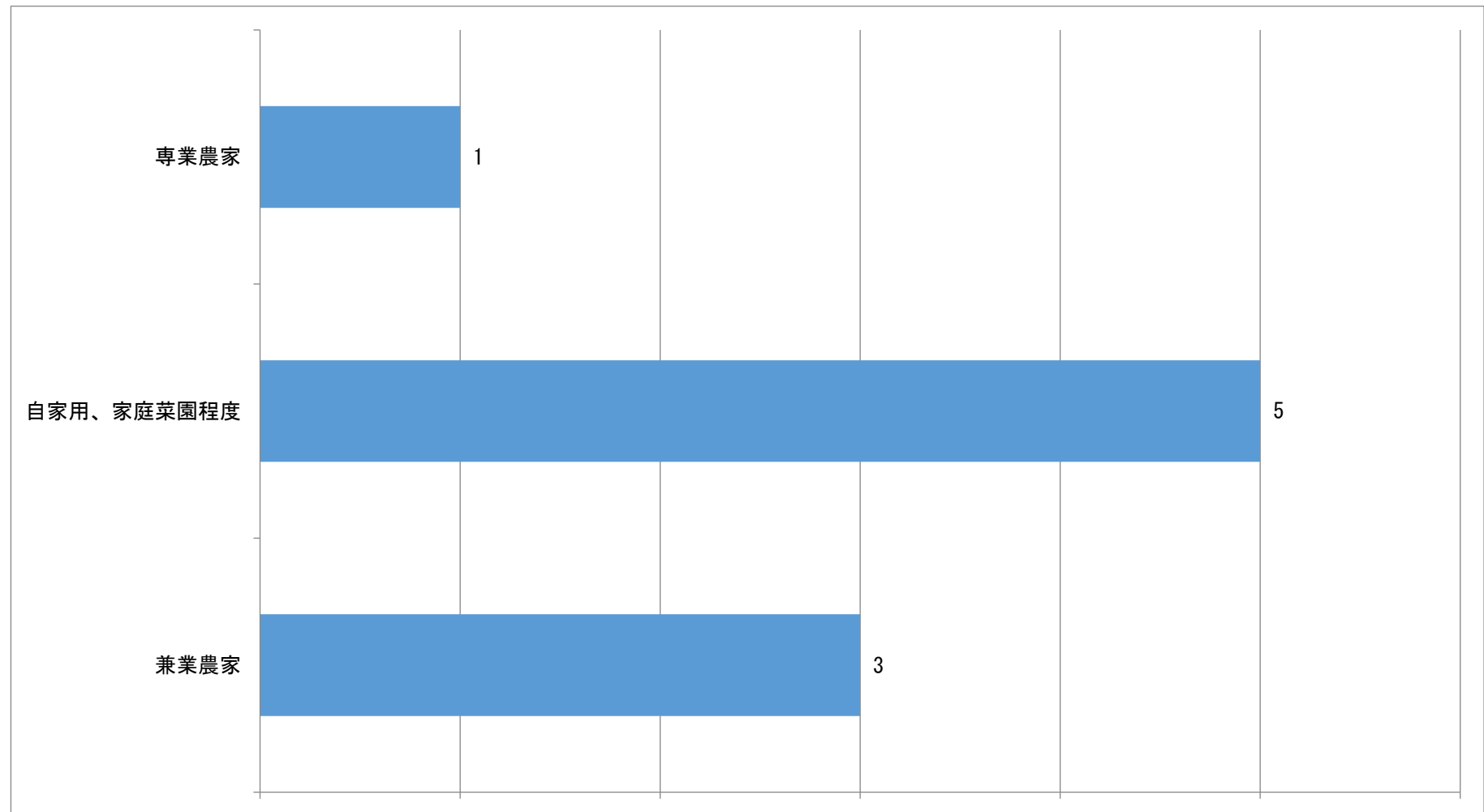
Q10 Q3で5又は6に○印をつけられた方にお聞きします。

これから農業を始めたいですか？

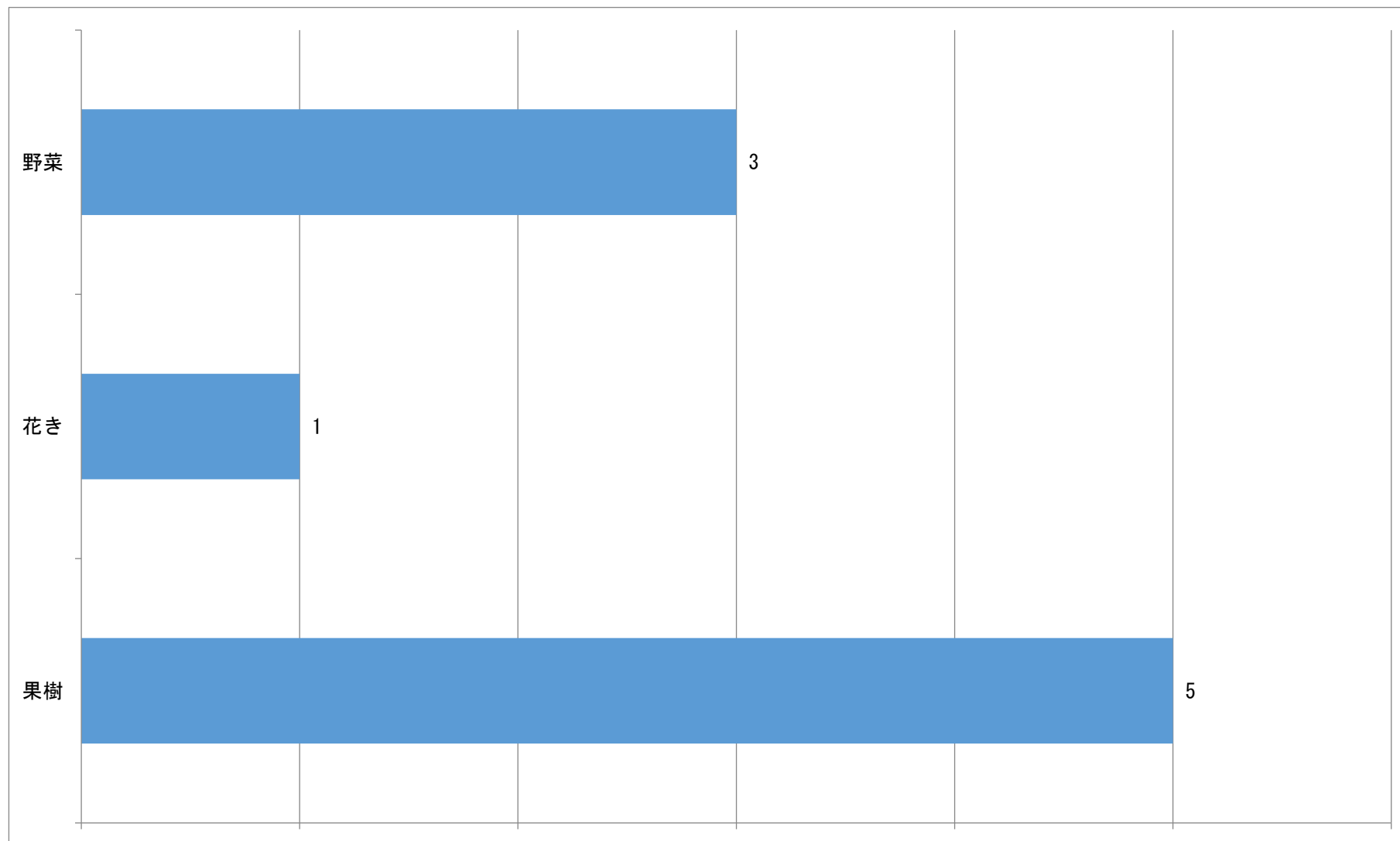


Q11 Q10で1に○印をつけられた方にお聞きします。

あなたが農業を始める場合、どのような形態を望みますか？

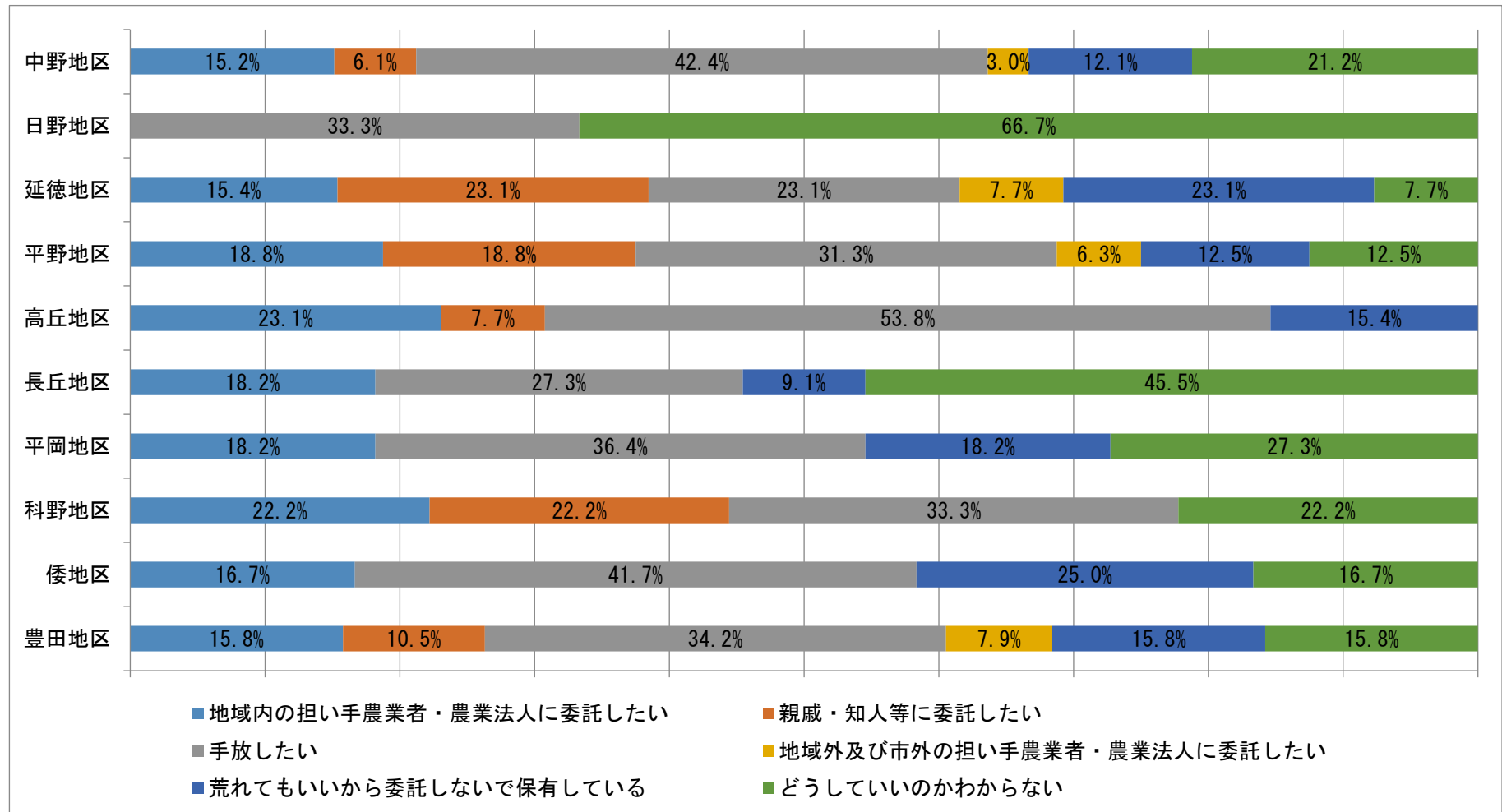


Q12 あなたが農業を始める場合、何を作付けしたいですか？



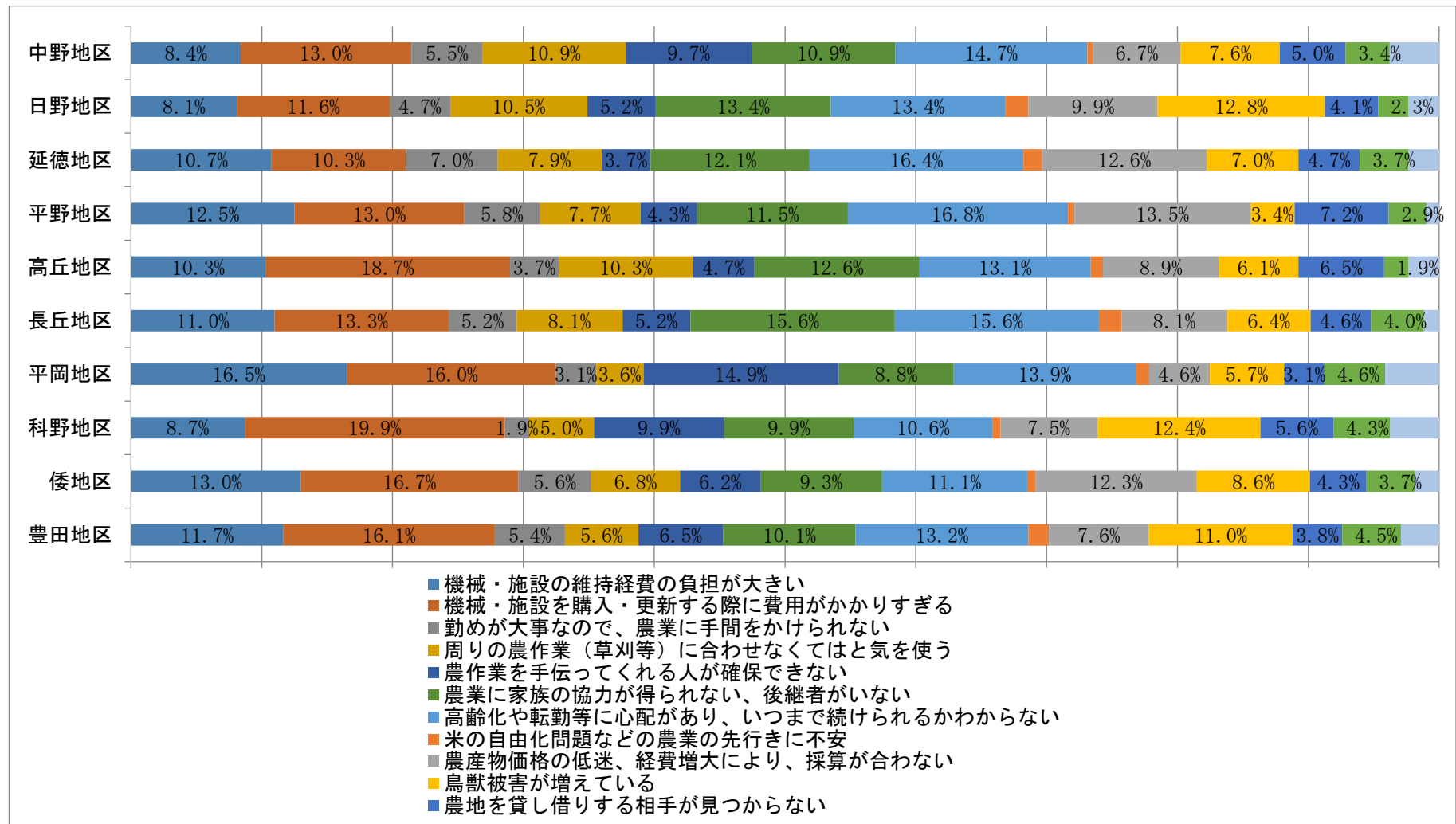
Q13 Q10で2に○印をつけられた方にお聞きします。

今後、あなたは農地をどのようにしたいとお考えですか？



- ・「どうしていいのかわからない」の割合は日野地区が最も高く（66.7%）、次いで長丘地区（45.5%）である。
- ・「手放したい」の割合は高丘地区が最も高く（53.8%）、次いで中野地区（42.4%）である。

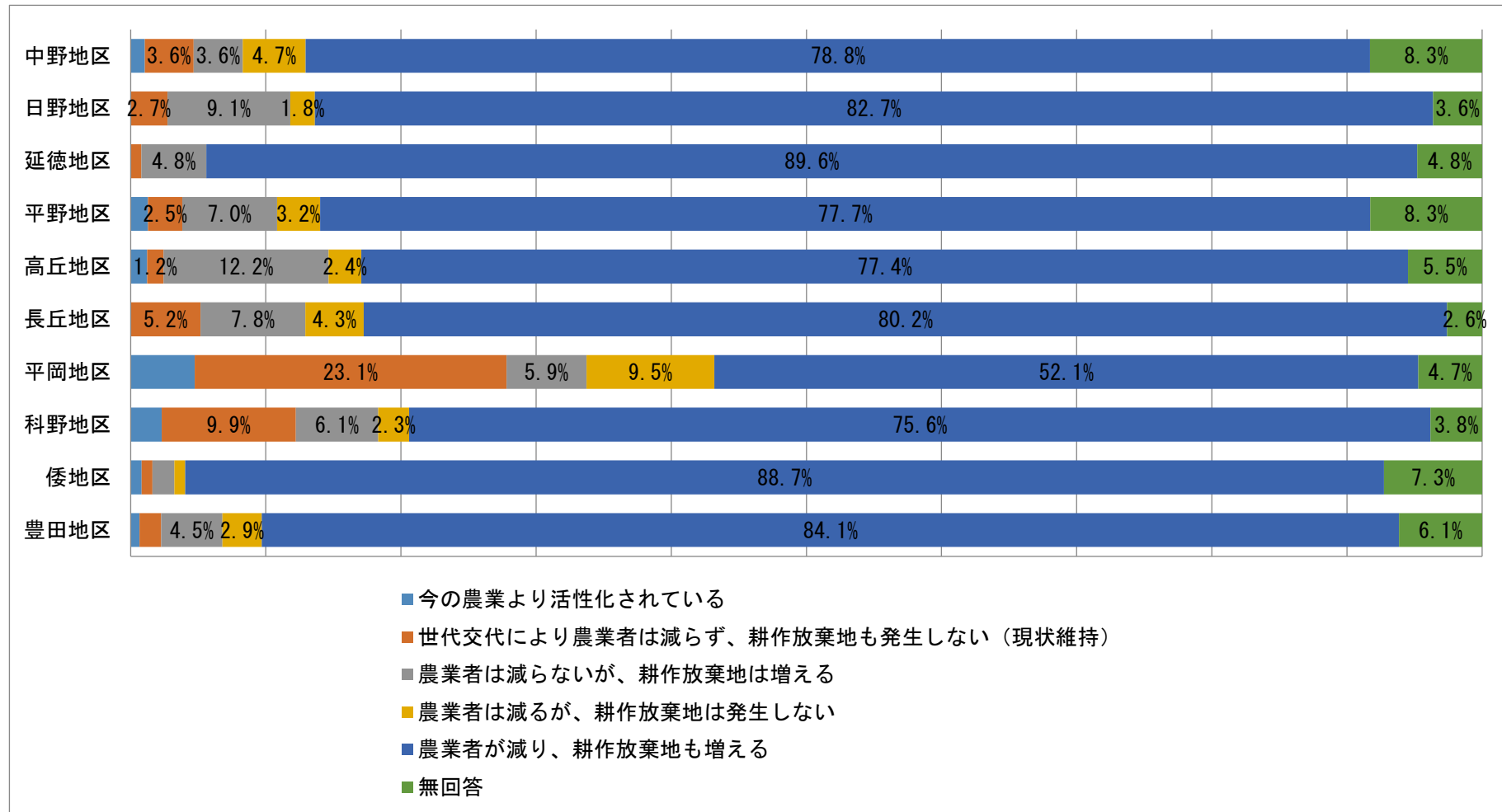
Q14 あなたが農業を行っていく、または始める上で、困っている事や問題になっていることはなんですか？（複数回答可）



- ・「機械・施設を購入・更新する際に費用がかかりすぎる」の割合は科野地区が最も高く（19.9%）、次いで高丘地区（18.7%）である。
- ・「機械・施設の維持経費の負担が大きい」の割合は平岡地区が最も高く（16.5%）、次いで倭地区（13.0%）である。

### Ⅲ. 地域の農業について

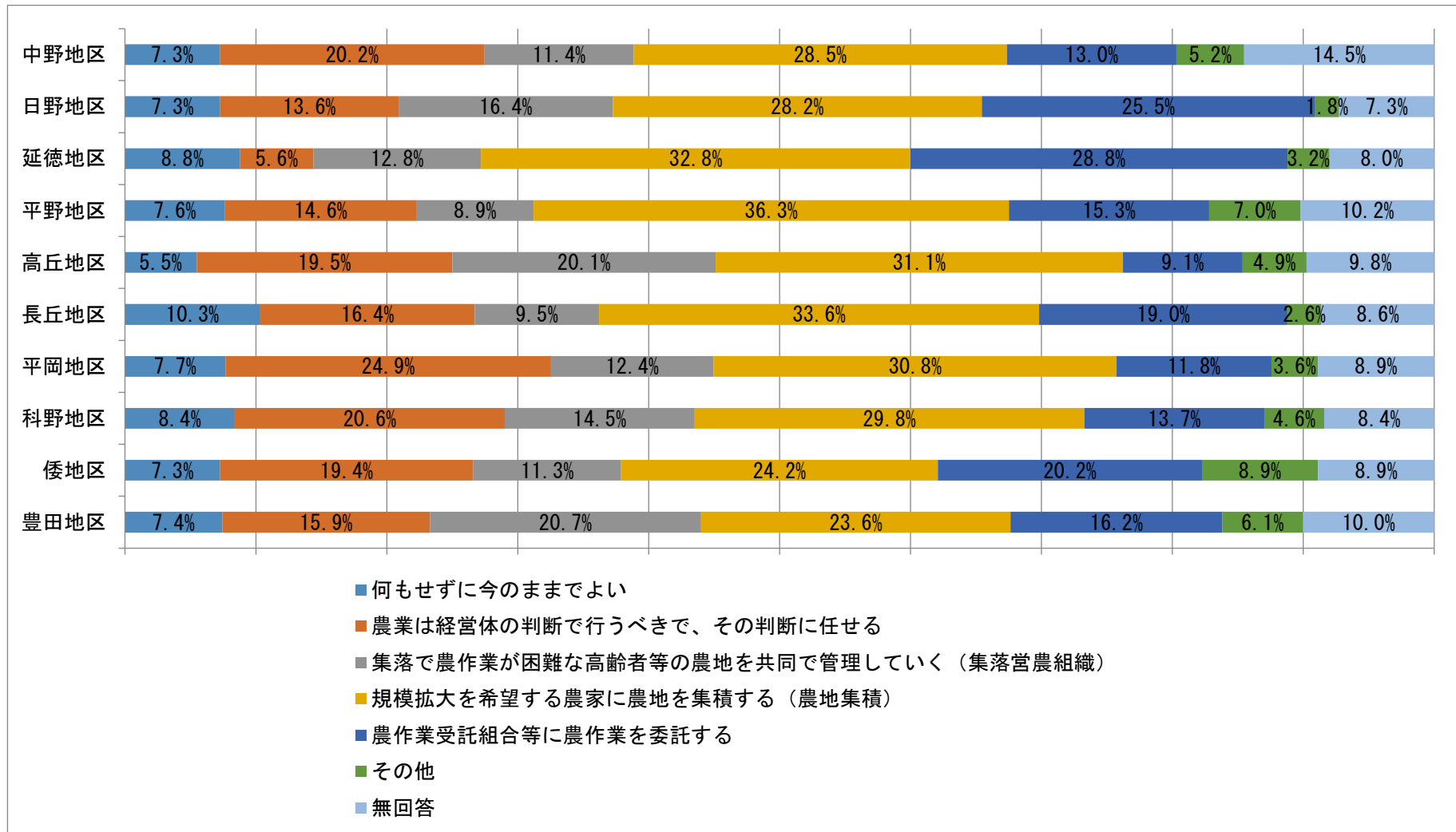
Q15 あなたの集落・地域の農業者・農地は10年後、どのようになると思いますか？



・「農業者が減り、耕作放棄地も増える」の割合が高い延徳地区（89.6%）、倭地区（88.7%）とは対照的に、平岡地区では「世代交代により農業者は減らず、耕作放棄地も発生しない（現状維持）」の割合が23.1%であり、他地区と比べ突出している。



Q16 今後の集落・地域の農業者はどのようにすべきとお考えですか？



- ・「規模拡大を希望する農家に農地を集積する（農地集積）」の割合は平野地区が最も高く（36.3%）、次いで長丘地区（33.6%）である。
- ・「農業は経営体の判断に任せる」の割合は平岡地区が最も高く（24.9%）、次いで科野地区（20.6%）である。